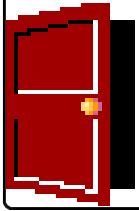


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

No. 23

桑村小学校令和5年6月2日 文責 渡邊

「読書通信」への感想をありがとうございました！

『読書活動の扉を開く』5月26日号を読んだ感想

「読書を楽しむ自分へのラブレター」ととても素敵です。

読書を通して自分を客観的に見ることができるんだなあと感じました。我が子も小学生になってから、今までよりも本を身近に感じられているようです。保育園の時は定期購読で届く本をメインに読んでいたので、自分で選ぶより与えられたものを読む機会が多かったのですが、小学生になり図書室や移動図書館で自分で選ぶ経験が増えたのが楽しさを増すきっかけになった様子です。借りて読んでいる本の話をよくしてくれるようになりました。

本との新しい出会いをたくさん楽しんでもくれるとうれしいなと思いながら見守っています。（1年生保護者より）

※読書通信『読書活動への扉を開く』へ感想を寄せていただきありがとうございます。「読書を楽しむ自分へのラブレター」は今年度スタートした取組です。平仮名の学習をしている1年生には、自分の思いを文章で表現することができるようになったら行いたいと考えています。

桑村小学校では、「豊かな感性」の育成に令和4年度から取り組んでいます。昨年度は、「自然に恵まれた学習環境を生かした体験活動と読書活動をつなぎ『豊かな感性』と『深い思考力』の育成」をテーマに実践しました。令和5年度は、昨年度の教育活動を発展させ、「読書体験と表現活動を柱に『豊かな感性』を育む」をテーマに取り組んでいます。今年度は、「表現活動」を重視しています。「豊かな感性」を育むには、外界から受けた様々な情報を自分のこととして受け取り、深く考え、その思考をつないで新たに形成した意味を自分の言葉で表現することが大切です。その表現活動の取組が「お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール」への参加と「読書を楽しむ自分へのラブレター」の実践です。五感を働かせ自分の思いを表現することはなかなか容易なことではありません。でも、いつの日か子供たちは「豊かな感性」を働かせた表現ができるようになるのではないかと思います。これからも取り組んでいきますので、是非応援してください。

『読書活動の扉を開く』5月26日号を読んだ感想

5年生の時から、6年生になったら、読書活動推進リーダーをやる！と子どもが決めていました。とてもやる気に満ちています。

お友だちや5年生の子たちと一緒に協力して、読書の面白さや楽しさを、是非広めて欲しいなと思います。（6年生保護者より）

※「読書活動推進リーダー」についての感想をありがとうございます。この活動も令和4年度からスタートしました。大人から「本を読みなさい」と言われ、渋々読書をするのではなく、学校の主役である子供自身が本の魅力を桑っ子に紹介し、読書活動を広めていくのです。子供たちの自主性も育まれ、持続可能な社会の創り手となる意識を育てることができたことも大きな成果となりました。これからも大切にしていきたい教育活動です。

感想を拝見し、とても嬉しく思いました。これからも学校と家庭が協働で読書活動を推進する中、「豊かな感性」を育んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。